

やろんで!

SPORTS

とっとり

財団法人 鳥取県体育協会広報誌

2010
December



Contents

平成 22 年度財団法人鳥取県体育協会 事業内容	2
平成 22 年度財団法人鳥取県体育協会 役員等	5
平成 21 年度財団法人鳥取県体育協会表彰	7
国際交流	8
国民体育大会	9
スポーツ少年団	11
平成 22 年度登録状況	
平成 22 年度スポーツ少年団事業計画	
平成 22 年度スポーツ少年団交流大会	
第 37 回日独スポーツ少年団同時交流	
平成 22 年度日本スポーツ少年団顕彰	
総合型地域スポーツクラブ	13
施設の取り組み紹介	14

事業内容



I 基本方針

本協会は、本県におけるアマチュアスポーツの統括団体として、加盟団体はもとより、県内における体育・スポーツ関係機関・団体等の連携のもとに、広く県民にスポーツ

の生活化を推進するとともに競技力向上に努め、県民に夢と感動と活力を与えるスポーツ活動の一層の振興を図る。

II 事業目的

1. スポーツ振興のための基本方針を確立する。
2. 加盟団体の強化発展及び相互の連絡調整を図る。
3. スポーツに関する宣伝、啓発、指導及び奨励を行う。
4. 体育大会、各種講習会を実施し、又はその実施について援助する。
5. スポーツ振興について、関係行政機関に対して意見

- を述べ、又はその施策に協力する。
6. スポーツ少年団を育成する。
7. 鳥取県から委託を受けたスポーツ等に関する施設の管理運営を行う。
8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行う。

III 平成 22 年度の主要事業概要

1. 平成 22 年度事業の重点

(1) 競技力の向上

- ① 鳥取県の競技力向上対策事業を受託し選手強化に努める。
- ② わかとり基金事業を通して各種選手強化策を実施する。
- ③ メディカルチェック、メンタルトレーニング等の医・科学サポートを実施する。

(2) 生涯スポーツの推進

- ① 総合型地域スポーツクラブを育成、支援する。
- ② 県民スポーツ・レクリエーション祭を開催する。
- ③ 各種講習会等で、公認スポーツ指導者を養成する。
- ④ 障害者スポーツ協会と連携し、障がい者のスポーツ活動の充実に努める。

(3) スポーツ少年団活動の充実

- ① スポーツ少年団を育成、支援し、その活動の充実を図る。
- ② スポーツ少年団指導者の育成、研修及びリーダーの養成を図る。

(4) 国際交流の推進

- ① 大韓民国江原道とのスポーツ交流を実施する。(今年度交流 10 回目)

(5) 広報・啓発活動等の推進

- ① スポーツ功労者等の表彰を行うとともに、各事業の広報機関誌の発行やホームページ等の情報提供の充実に努める。

(6) 体育施設の管理

- ① 指定管理者として、受託施設 6 施設（鳥取産業体育館・鳥取屋内プール、布勢運動公園、倉吉体育文化会館、米子屋内プール、米子産業体育館、県立武道館）の管理運営を適切に行う。

(7) 指定管理施設スポーツ振興事業基金の活用

- ① 指定管理施設スポーツ振興事業基金を活用し、本県スポーツの振興に関する各種事業を実施する。

2. 加盟団体の強化発展及び連絡調整

鳥取県競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。

(1) 県委託事業

- 1 ジュニア強化事業
- ・ジュニア指導者講習会

- ジュニア期の指導に携わる指導者が一同に会して講習会を開催し、指導方針、発達段階に応じた指導者の役割や強化方法等について共通理解を図り、指導者資質の向上を図る。
- ・ジュニア期一貫指導体制推進事業

優秀なジュニア選手の発掘とあわせて、一貫した理念や内容で組織的・計画的に継続して強化を図るために、各競技団体に本県の実情にあった競技者育成プログラムの作成に取り組み、それに基づく実践を通してジュニア期における一貫指導体制の推進を図る。

・アドバイザーコーチ招へい事業

海外を含む県外からの優秀なコーチを招へいし、競技に関する豊富な知識と指導経験に基づく質の高い指導を受けることにより、本県強化選手及び強化コーチにおける効果的な競技力向上を図る。

・中学生選抜選手強化事業

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。

・高等学校部指定強化事業

各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。

・ジュニアクラブチーム育成・支援事業

各競技の優秀な指導者が、普及を目的とし、小中高の一貫指導体制を整えるため、基盤となる唯一のクラブに支援する。

・少年国体等選手指定強化事業

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。

2 成年強化事業

・成年国体等選手指定強化事業

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。

3 条件整備事業

・安全管理対策事業

国体選手候補者のスポーツ安全加入料を補助する。

・医・科学サポート事業

医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実を図る。

・強化練習用消耗品等対策事業

国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。

・強化推進事業

競技力向上を図るための競技団体との連絡会議旅費。

4 国体成年団体競技強化事業

・国体成年団体競技強化事業

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。

(2) 自主事業

メディカルチェック、メンタルトレーニングを実施する。

3. スポーツに関する宣伝、啓発、指導及び奨励

(1) 体協表彰の実施

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 平成23年3月上旬

場 所 鳥取県民体育館

表彰内訳 体育功労賞 若干名

優秀指導者賞 若干名

スポーツ賞 全国大会等上位入賞者

スポーツ敢闘賞 全国大会等下位入賞者

スポーツ奨励賞 全国規模大会入賞者

特別賞 国際大会出場者等

(2) 広報活動の推進

本会の業務や本県スポーツ活動の状況を県民、関係者に周知するため広報活動の充実を図る。

インターネット H.P の活用

行事予定表の発刊

体協だよりの発刊

4. 体育大会、各種講習会の実施・援助

(1) 大韓民国江原道とのスポーツ交流

本県体育協会と江原道体育会との協定（2001年11月6日協定）に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。

平成22年度は鳥取市で開催する。

・スポーツ交流大会 4 競技

時 期 12月上旬

参加者 4 競技の監督、選手、体協役員等

(2)第11回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の開催(県共催事業)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

- ・夏季大会 2種目
期 日 平成22年8月28日・29日
会 場 西部地区中心に全県で開催
- ・秋季大会 31種目
期 日 平成22年10月23日・24日
会 場 鳥取市中心に全県で開催
- ・冬季大会 5種目
期 日 平成23年2月13日
(スキーは2月中旬若桜町)
会 場 西部地区中心に全県で開催

(3)公認スポーツ指導者養成講習会の開催(日体協委託事業)

3競技(バレーボール、ソフトボール、弓道)

(4)公認スポーツ指導者研修会の開催(日体協助成事業等)

スポーツ指導者研修会の開催 年2回

(5)国民体育大会等への選手団派遣(県委託事業)

国体県予選会を開催するとともに、国体中国ブロック大会、国民体育大会へ本県選手団を派遣する。

- ① 国体県予選会の開催
国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。
- ② 中国ブロック大会及び全国予選会への選手団

派遣

鳥取県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及び長野県(予定)で開催予定の全国予選会へ選手団を派遣する。

期 日 平成22年5月～12月

会 場 鳥取県内の各会場等

競技種目 水泳(水球)他34競技

③ 第65回本国体及び第66回冬季大会への選手団派遣

・千葉県で開催される国体に選手団を派遣する。
(会期前国体)

期 日 平成22年9月10日～17日

競技種目 水泳競技

期 日 平成22年9月21日～23日

競技種目 ゴルフ競技

(本国体)

期 日 平成22年9月25日～10月5日

競技種目 陸上競技他36競技

・第66回冬季大会に選手団を派遣する。

(スケート、アイスホッケー競技)

期 日 平成23年1月下旬

場 所 青森県

(スキー競技)

期 日 平成23年2月

場 所 秋田県

(6)第65回国民体育大会(第66回冬季大会)中国ブロック大会の開催

千葉県で開催される本国体(青森県で開催される本国体)の中国ブロック予選の開催

5. スポーツ振興のため関係行政機関への協力

(1)総合型地域スポーツクラブ育成支援事業(日本スポーツ振興センター補助事業)

- ・クラブ育成アドバイザーの配置
- ・総合型地域スポーツクラブ育成委員会の開催
- ・都道府県クラブマネジャー研修会の開催
- ・未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動

- ・鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催
- ・総合型地域スポーツクラブ育成支援チームの派遣

(2)アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日体協委託事業)

- ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。
- ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

6. スポーツ少年団の育成(日体協助成事業等)

- ・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 年1回

- ・シニアリーダースクール・全国少年大会への派遣
- ・組織整備強化事業の実施

7. その他

(1)自転車競技場の管理運営

- ・倉吉自転車競技場の管理運営を特定非営利活動法人たかしろに委託する。
- ・走路改修工事請負

(2)スポーツ安全保険業務

- ・財団法人スポーツ安全協会鳥取県支部と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

役員等

名誉顧問・顧問

名誉副会長	浜崎 芳 宏		
顧 問	平 林 鴻 三	西 尾 邑 次	藤 井 喜 臣

理事・監事（任期：平成22年4月1日～平成24年3月31日）

役員	氏 名	役 職 ・ 区 分
会長	田 淵 康 允	【学識経験者】
副会長	油 野 利 博	鳥取大学地域学部 教授 【学識経験者】
〃	二 岡 真 美 子	鳥取県体操協会 理事 【学識経験者】
専務理事	川 口 一 彦	【学識経験者】
常務理事	平 家 悟	三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株) 総務部部長 【学識経験者】
〃	清 水 正 人	清水病院 副院長 【学識経験者】
〃	山 崎 孝 夫	鳥取県スキー連盟 理事長 【競技団体】
〃	川 口 武	鳥取県水泳連盟 専務理事 【競技団体】
〃	中 原 利 幸	鳥取陸上競技協会 理事長 【競技団体】
〃	宮 石 憲 士	鳥取県剣道連盟 会長 【競技団体】
〃	筒 井 実	鳥取県軟式野球連盟 理事長 【競技団体】
〃	中 村 孝 太 郎	鳥取県ゲートボール協会 会長 【競技団体】
〃	宇 田 川 貴 生	高等学校体育連盟 理事長 【学校体育団体】
〃	秋 山 光 行	鳥取市体育協会 事務局長 【郡市体育協会】
〃	角 秋 児	米子市体育協会 理事長 【郡市体育協会】
理事	福 本 慎 一	鳥取県教育委員会 事務局次長 【学識経験者】
〃	長 谷 川 和 郎	鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長 【学識経験者】
〃	土 井 綾	鳥取県スポーツ少年団 常任委員 【学識経験者】
〃	齋 尾 智 恵 里	鳥取県体育指導委員協議会 女性委員 【学識経験者】

役員	氏 名	役 職 ・ 区 分
理事	上 山 房 之	鳥取県障害者スポーツ協会 常務理事 【学識経験者】
〃	林 原 潤	鳥取県力ヌー協会 理事長 【競技団体】
〃	岡 田 行 雄	鳥取県自転車競技連盟 理事長 【競技団体】
〃	常 田 享 詳	鳥取県柔道連盟 会長 【競技団体】
〃	井 上 慶 身	鳥取県空手道連盟 理事長 【競技団体】
〃	山 根 俊 一	鳥取県アーチェリー協会 理事長 【競技団体】
〃	小 倉 健 一	鳥取県バスケットボール協会 理事長 【競技団体】
〃	山 根 長	鳥取県テニス協会 副会長 【競技団体】
〃	高 橋 啓 子	鳥取県バレーボール協会 常任理事 【競技団体】
〃	但 井 健 二	鳥取県卓球連盟 副理事長 【競技団体】
〃	山 本 昭 子	鳥取県グラウンドゴルフ協会 国際交流委員 【競技団体】
〃	津 島 稔	鳥取県スポーツチャンバラ協会 理事長 【競技団体】
〃	岸 田 勇 人	中学校体育連盟 理事長 【学校体育団体】
〃	清 水 克 哉	鳥取大学 副学長 【学校体育団体】
〃	中 島 宗 男	岩美町体育会 理事長 【郡市体育協会】
〃	土 海 孝 治	東伯郡体育協会 理事長 【郡市体育協会】
〃	石 操	西伯郡体育協会 会長 【郡市体育協会】
監事	馬 壁 聰 之 介	
〃	浦 林 梅 樹	

評 議 員

氏 名	団 体 名	役 職
1 渡 慣 由 章	スキー連盟	副 会 長
2 林 田 房 雄	スケート連盟	理 事 長
3 藤 野 純 一	アイスホッケー連盟	副理事長
4 長 谷 川 勝 寿	バイアスロン連盟	理 事 長
5 平 野 宏 幸	陸上競技協会	総務部長
6 横 山 憲 一	(財)水泳連盟	副理事長
7 高 田 貴 志	サッカー協会	事務局長 (理 事)
8 稲 田 睦	テニス協会	理 事 長
9 竹 田 新 太 郎	ボート協会	理 事 長
10 坂 田 陽 彦	ホッケー協会	事務局長
11 林 善 博	アマチュアボクシング連盟	理 事 長
12 足 立 幹 夫	バレーボール協会	会 長
13 宮 部 妃 佐 雄	体操協会	副 会 長
14 小 西 秀 明	バスケットボール協会	事務局長
15 杉 谷 忍	レスリング協会	事務局長
16 富 田 博 司	セーリング連盟	理 事 長
17 中 嶋 政 幸	ウエイトリフティング協会	会 長
18 松 本 吉 司	ハンドボール協会	副理事長
19 笠 見 孝 徳	自転車競技連盟	財務部長
20 安 東 健 司	ソフトテニス連盟	理 事 長
21 谷 口 和 敏	卓球連盟	理 事 長
22 永 田 浩	軟式野球連盟	副理事長
23 小 村 仁 志	相撲連盟	事務局長
24 小 谷 茂	馬術連盟	会 長
25 高 岡 智 奈 美	フェンシング協会	強化委員
26 前 田 秀 司	柔道連盟	理 事 長
27 宮 脇 照 子	ソフトボール協会	理 事
28 宮 本 義 夫	バドミントン協会	副理事長
29 羽 戸 豊 二	弓道連盟	副 会 長
30 松 本 雅 文	ライフル射撃協会	理 事 長
31 岸 田 芋	剣道連盟	副会長兼 理 事 長
32 長 見 眞 文	ラグビーフットボール協会	理 事 長

氏 名	団 体 名	役 職
33 葉 狩 健 一	山岳協会	副 会 長
34 西 村 勝	カヌー協会	副理事長
35 村 田 安 功	アーチェリー協会	事務局長
36 三 村 健 一	空手道連盟	事務局長
37 上 萬 淳	銃剣道連盟	理 事 長
38 安 木 顕	クレ射撃協会	会 長
39 西 尾 芳 子	なぎなた連盟	理 事
40 加 藤 幸 雄	ボウリング連盟	理 事 長
41 遠 藤 喬	ゴルフ協会	事務局長
42 西 村 為 吉	ゲートボール協会	理 事 長
43 柴 田 利 幸	綱引連盟	理 事 長
44 竹 森 幹 人	少林寺拳法連盟	理 事
45 牧 田 圭 子	グラウンドゴルフ協会	理 事
46 松 森 信 博	トライアスロン協会	理 事
47 前 田 慶 一 郎	武術太極拳連盟	理 事 長
48 植 木 文 雄	エアロビック連盟	理 事
49 水 田 靖 子	スポーツチャンバラ協会	事務局長
50 田 中 英 教	鳥取市体育協会	副 会 長
51 椿 正 昌	米子市体育協会	副 会 長
52 和 泉 博 伸	倉吉市体育協会	事務局長
53 松 本 熙	境港市体育協会	副 会 長
54 植 田 武 郎	岩美町体育会	会 長
55 瀧 田 修	八頭郡体育会	副 会 長
56 宮 脇 正 道	東伯郡体育協会	会 長
57 山 西 敏 夫	西伯郡体育協会	理 事 長
58 松 本 豊 文	日野郡体育協会	副 会 長
59 西 谷 智 子	高等学校体育連盟	事務局長
60 安 藤 敦 仁	中学校体育連盟	会 長
61 上 野 耕 平	鳥取大学体育連合会	准 教 授
62 池 本 幸 雄	米子工業高等専門学校体育連合会	理 事 長
63 逢 坂 秀 樹	鳥取短期大学体育連合会	教 授
64 大 森 教 雄	高等学校野球連盟	理 事 長

表 彰



平成22年3月6日（土）、白兔会館において、平成21年度の体育協会表彰を行いました。
この表彰は、本県スポーツの発展のため功績のあった方に対して行っています。

【体育功労賞】

白根 暢 之 (スキー連盟)
横山 憲 一 (水泳連盟)
故永 島 武 (体操協会)
松田 敏 夫 (レスリング協会)
足達 能 紹 (ライフル射撃協会)
井上 慶 身 (空手道連盟)
松本 正 二 (境港市体育協会)
椿 知 夫 (県スポーツ少年団)

【優秀指導者賞】

森本 克 巳 (陸上競技協会)
城市 徳 之 (米子市体育協会)
池口 敏 明 (ボート協会)
福住 正 道 (弓道連盟)
樋口 彰 紀 (アーチェリー協会)

【特別賞】

前島 博 之 (夏季デフリンピック台北：陸上競技)
堰本 将 平 (夏季デフリンピック台北：陸上競技)
宇佐 美 里 香 (アジア空手道選手権大会)
小林 竜 一 (バンクーバーオリンピック：ボブスレー競技)
谷 口 彰 (バンクーバーパラリンピック：アルペンスキー競技)
津崎 紀 久 代 (ユニバーシアード競技大会：陸上競技女子ハーフマラソン2位)



各 賞	受賞者数（延人数）	賞 の 概 要
体 育 功 労 賞	8名	永年にわたり、本県のスポーツ発展のために尽瘁し功績のあった者。
優 秀 指 導 者 賞	5名	長期にわたり、選手の育成強化又はスポーツの普及指導に優秀な成績を上げ、本県スポーツの発展のため顕著な功績のあった者。
ス ポ ー ツ 賞	個人 43名 団体 11チーム71名	当該年度の全国大会等において、上位に入賞した選手又はチーム。
スポーツ敢闘賞	個人 28名 団体 15チーム67名	当該年度の全国大会等において、入賞し敢闘した選手又はチーム。
スポーツ奨励賞	個人 26名 団体 6チーム35名	当該年度の職域または特別の出場制限を設けた全国大会等において、上位に入賞した選手又はチーム。
特 別 賞	6名	●オリンピック大会及びパラリンピック大会に出場した選手並びに国際大会で優秀な成績を上げた選手。 ●本県で開催された全国規模のスポーツ大会において顕著な貢献をした者。 ●本県スポーツの充実、発展に著しく貢献し他の模範となった者。
合 計	289名 内訳〔個人116名、団体32チーム（173名）〕	

国際交流

財団法人鳥取県体育協会では、大韓民国江原道体育会が締結したスポーツ交流協定書に基づきスポーツ交流試合を実施し、日韓両国の友好親善とスポーツの振興を図ることを目的とした「日韓スポーツ交流事業」を実施しています。

交流内容は、韓国江原道と鳥取県のスポーツ団体の役員・選手がお互いの国を訪問し、スポーツ交流試合を行う相互交流方式です。

平成13年度から始まったこの交流は今年度で10回を数えます。

平成22年度は、鳥取県鳥取市にて12月3日～7日の日程で開催されました。

平成22年度(第10回)交流の日程

- * 12月3日(金)
境港DBSクルーズ着・入国手続／記念植樹
- * 12月4日(土)
各競技交流大会開始式／各競技交流大会・合同練習／歓迎レセプション
- * 12月5日(日)
各競技交流大会・合同練習／各競技夕食会
- * 12月6日(月)
鳥取県内主要名所見学／ショッピング／歓送レセプション
- * 12月7日(火)
副知事・教育長表敬訪問／見送り式／宿舍発／米子空港着・出国手続／仁川空港着



過去の交流大会

回数	期日	場所	参加人数		実技競技
			鳥取県	江原道	
第1回	平成13年11月5日～9日	江原道春川市	24名	29名	アーチェリー・剣道・ソフトテニス
第2回	平成14年6月24日～27日	鳥取県米子市	43名	33名	カヌー・アーチェリー・剣道・ソフトテニス
第3回	平成15年11月10日～13日	江原道束草市	34名	38名	カヌー・アーチェリー・剣道・ソフトテニス
第4回	平成16年7月26日～29日	鳥取県大山町	40名	31名	カヌー・アーチェリー・剣道・ソフトテニス
第5回	平成17年7月26日～29日	江原道江陵市	33名	37名	カヌー・アーチェリー・バドミントン・フェンシング
第6回	平成18年7月25日～28日	鳥取県米子市	46名	37名	バレーボール・アーチェリー・バドミントン・フェンシング
第7回	平成19年12月4日～7日	江原道原州市	36名	43名	フェンシング・バドミントン・バレーボール・レスリング
第8回	平成20年11月18日～21日	鳥取県鳥取市	49名	36名	フェンシング・バドミントン・バレーボール・レスリング
第9回	平成21年12月4日～8日	江原道東海市	41名	49名	バレーボール・レスリング・卓球・柔道

国民体育大会



国民体育大会は、都道府県対抗、各都道府県持ち回り方式で毎年開催され、昭和36（1961）年からは、国のスポーツ振興法に定める重要行事の一つとして、（財）日本体育協会・文部科学省・開催地都道府県の三者共催で行われています。

第65回国民体育大会は、冬季大会をくしろサッポロ氷雪国体として、「夢に飛べ 北に 未来に 熱き鼓動」のスローガンのもと、スケート競技・アイスホッケー競技は1月27日から31日の日程で釧路市を中心に開催され、スキー競技は、2月25日から28日の日程で札幌市を中心に開催されました。

本大会、ゆめ半島千葉国体は「今 房総の風となり この瞬に輝きを」の大会キャッチコピーのもと、会期前実施競技を含め9月8日から10月5日の日程で開催されました。

本県選手団は、冬季大会に監督6名、トレーナー1名、選手38名が参加、本大会に監督40名、トレーナー31名、選手264名が参加しました。

大会成績は以下のとおりです。

◆天皇杯・皇后杯成績

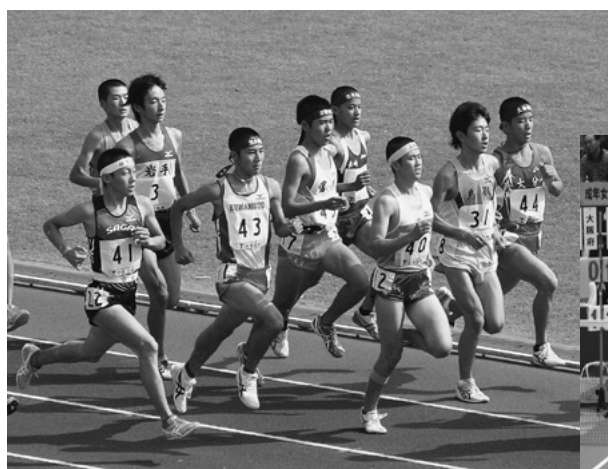
天皇杯 46位 629.5点
皇后杯 42位 382.0点

◆季別成績

	参加点		競技得点	合 計	季別順位
冬 季 大 会	天皇杯	30点	0点	30.0点	32位
	皇后杯	20点	0点	20.0点	25位
本 大 会	天皇杯	370点	229.5点	599.5点	46位
	皇后杯	280点	82.0点	362.0点	43位
総 合 得 点	天皇杯	400点	229.5点	629.5点	46位
	皇后杯	320点	82.0点	382.0点	42位

◆成績の推移（過去5年）

年	18	19	20	21	22
開 催 県	兵庫	秋田	大分	新潟	千葉
競技得点	275.0	331.5	226.0	198.5	229.5
順 位	45	43	46	47	46



第 65 回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」鳥取県選手団入賞者一覧

◆陸上競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 男 子	110mH	西澤 真徳	4位	13" 98	5
	ハンマー投	赤穂 弘樹	8位	61m59	1
	やり投	高力 裕也	4位	72m33	5
少 年 男 子A	走幅跳	松浦 憲吾	6位	7m33	3
少 年 男 子B	3000m	藤原 匠平	3位	8' 30" 05	6
成 年 女 子	走 幅 跳	湊 つばさ	4位	5m99	5

◆水泳競技

種 別	種 目	選 手 名			順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 男 子	飛板飛込	安永 元樹			6位	368. 65	3
	高 飛 込	宮本幸太郎			2位	433. 65	7
少 年 男 子	高 飛 込	前谷 健佑			2位	362. 25	7
少 年 男 子	水 球	田村 拓	栗田 憲	藤原 駿	3 位	3・4位決定戦 12－7京都	30
		秋月 一真	天野 裕人	片山 勇			
		島田 元輝	深田 隼輔	三原 真人			
		山根 拓也	中下 拓耶				

◆テニス競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 男 子	団 体	小山 慶太 岩見 直哉	5位	5位決定戦2-0東京	12
成 年 女 子	団 体	大麻 桃子 大麻 智尋	7位	7位決定戦2-1秋田	6

◆ボート競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 女 子	ダブルスカル	竹崎 希 藤田 美咲	5位	3' 41" 38	12
少 年 男 子	シングルスカル	池口 開	3位	3' 35" 38	6
少 年 女 子	シングルスカル	小林 加弥	4位	4' 02" 33	5
	ダブルスカル	松本 愛理 清水保菜美	5位	3' 47" 20	12

◆体操競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
少 年 女 子	新体操 団体	福谷 春奈 瀨本 春菜 山本 詩織 田中 清華 砂田 未来 俵 野々花 森本なつは	7位	42. 5375	10

◆バスケットボール競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
少 年 男 子	団 体	大阪 力 加藤 慧 伊田 涼司 岡本 貴彦 長谷川 徹 岡本 聡 竹本 昂生 石亀 光樹 井上 大樹 本多 湧磨 伊木 祐二	5位	準々決61-87静岡	12.5

◆レスリング競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 男 子	フリー66kg級	角勝 草介	5位	準々決勝0-2青森	2.5
	グレコ84kg級	岩間 奨平	5位	準々決勝0-2福岡	2.5
少 年 男 子	フリー50kg級	手島 翔平	5位	準々決勝フオール負け長崎	2.5
	フリー55kg級	安田 一樹	5位	準々決勝フオール負け三重	2.5
	フリー96kg級	安田 翔	2位	決勝フオール負け埼玉	7

◆自転車競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
少 年 男 子	スプリント	佐伯 亮輔	4位	3位決定戦1-2福井	5
	1kmタイムトライアル	八田 憲	7位	決勝1' 10" 122	1.5

◆相撲競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
少 年 男 子	団 体	網谷 勇志 須藤 火山 中村武雄士 柴田 直人 中原 将博 木崎 信志 佐々木耕大	5位	準々決2-3石川	12.5

◆馬術競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 女 子	ダービー	山林真由美	8位	決勝減点0 1' 43" 40	1

◆バドミントン競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 女 子	団 体	宮崎 優花 藤原 由衣 日野由希江	4位	3位決定戦0-2兵庫	15

◆カヌー競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 男 子	スプリントカナディアンシングル	藤井 功輔	3位	200m決勝43" 435	6
	スプリントカナディアンシングル		4位	500m決勝1' 59" 596	5
成 年 女 子	スラロームカヤックシングル	遠藤絵里子	8位	25G決勝1' 34" 94	1
	スラロームカヤックシングル		8位	15G113. 07ポイント	1

◆空手競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 女 子	形	宇佐美里香	1位	決勝4-1京都	8
少 年 女 子	形	岩佐 希	4位	3位決定戦0-5千葉	5

◆ゴルフ競技

種 別	種 目	選 手 名	順位	成績（記録など）	競技得点
成 年 男 子	団 体	小谷 一弘 齋藤 翔太 桐谷 龍平	7位	1日目215 2日目雨天中止	3
女 子	団 体	鈴木 愛 山本 気恵 鈴木 花奈	8位	1日目223 2日目雨天中止	1

入賞競技数	入賞者数
14 競技	76 名

競技得点合計
229.5

スポーツ少年団

スポーツ少年団登録状況（平成22年度）

登録団数…182団 / 登録団員数…3,871名 / 登録指導者数…762名

スポーツ少年団事業計画

1. 会議

鳥取県スポーツ少年団本部総会
鳥取県スポーツ少年団常任委員会
中国ブロックスポーツ少年団連絡協議会総会（第1回）
中国ブロックスポーツ少年団連絡協議会総会（第2回）
日本スポーツ少年団中・四国ブロック会議
都道府県事務担当者会議
日本スポーツ少年団本部員総会（第1回）
日本スポーツ少年団本部員総会（第2回）

2. 県内交流事業

軟式野球交流大会
バレーボール交流大会
ミニバスケットボール交流大会
剣道交流大会
鳥取県スポーツ少年団交流会（駅伝大会）

3. ブロック交流事業

中国ブロック柔道交流大会
中国ブロック室内サッカー交流大会

4. 全国交流事業

第48回全国スポーツ少年大会
第32回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
第8回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会（女子）

第33回全国スポーツ少年団剣道交流大会

5. 国際交流事業

第37回日独同時交流事業（受入）

6. 指導者養成・研修事業

スポーツリーダー兼認定員養成講習会
中国ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会
第16回スポーツ少年団指導者全国研究大会
認定育成員研修会（中国・四国ブロック）

7. 特別事業

大山トイレマナーアップキャンペーン（頂上トイレ汚泥
キャリーダウン）

8. リーダー養成・研修事業

宿泊交流大会兼ジュニアリーダースクール（西部地区ジ
ュニア合同）
シニアリーダースクール
全国スポーツ少年団リーダー連絡会

9. 顕彰事業

鳥取県スポーツ少年団顕彰
日本スポーツ少年団顕彰

10. 各地区スポーツ少年団助成事業

各地区スポーツ少年団競技別交流大会

平成22年度鳥取県スポーツ少年団交流大会を開催しました

スポーツ少年団員が交流会を通して技能を磨き、競技の喜びを体験しながら、団員相互の交流、仲間意識と連帯を深めることを目的とした交流大会を開催しました。

白熱した試合が繰り広げられ、団員たちは試合を通じて交流を深め、競技を楽しんでいました。



試合結果

軟式野球交流大会

平成22年7月4日（日） 米子市営淀江球場

優勝 車尾スポーツ少年団

準優勝 用瀬スポーツ少年団

ミニバスケットボール交流大会

平成22年7月4日（日） 伯耆町立岸本体育館

男子の部

優勝 伯耆町スポーツ少年団ミニバスケットボールクラブ

準優勝 淀江スポーツ少年団バスケットボール部

3位 泊ミニバスケットボールスポーツ少年団

女子の部

優勝 淀江スポーツ少年団バスケットボール部

準優勝 鹿野スポーツ少年団鹿野ミニバスケットボールクラブ

3位 余子スポーツ少年団ミニバスケットボールクラブ
北栄町北条ミニバスケットボールスポーツ少年団

第37回日独スポーツ少年団同時交流

7月25日(日)から29日(木)の5日間にわたり、第37回日独スポーツ少年団同時交流受入を行いました。
中国地方(鳥取県、島根県、岡山県、山口県)を17日間かけて訪問するプログラムで、鳥取県は第1訪問県としてゲッペルト・マルテ団長率いる9名のメンバーをお迎えし、様々な交流プログラムを実施しました。
日本ならではの歴史や文化、鳥取県の豊かな自然に触れ、団員1人1人の心に残る交流となったようです。
今回の交流にご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

日 程

7月25日(日)

滋賀県大津市より移動／昼食／鳥取砂丘見学／受入式／歓迎懇親会

7月26日(月)

総合型地域スポーツクラブとの交流(ラフティング)／昼食／武道交流・体験(柔道・空手道・弓道)／高校生とのテーマディスカッション

7月27日(火)

座禅プログラム／大神山神社参拝／昼食(精進料理)／海水浴／大山青年の家入所式／キャンプファイヤー

7月28日(水)

スポーツ少年団との交流(ブナの木植樹)／昼食／障がい者とのふれあい(ニュースポーツ体験)／さよならパーティー

7月29日(木)

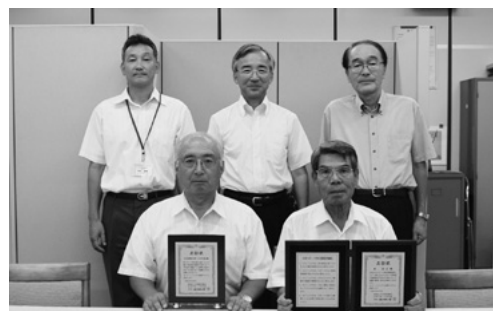
島根県への引継ぎ



平成22年度日本スポーツ少年団顕彰を受賞されました

日本スポーツ少年団顕彰は、永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、顕著な功績を挙げられた市区町村スポーツ少年団、指導者を表彰するもので、団としては日吉津村スポーツ少年団、指導者としては郡家西スポーツ少年団所属の林展正さんが受賞されました。

9月7日(火)県庁教育長室にて表彰盾伝達式を行い、横濱純一鳥取県スポーツ少年団本部長より表彰盾が授与されました。



総合型地域 スポーツクラブ



総合型地域スポーツクラブ(以下総合型クラブ)は、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多趣味)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

総合型クラブ育成の取り組みは、文部科学省が策定した『スポーツ振興基本計画』に基づき、全国的に進められているものです。この計画の中には、全国の各市町村に少なくとも1つ、総合型クラブを育成することが目標に掲げられています。

平成22年7月1日現在で、全国の1,750の市区町村において、設立準備中のクラブを含めた3,114のクラブが育成されています。

鳥取県内では、19市町村中18市町で、設立準備中を含めた31のクラブが活動しています。

鳥取市	けたかスポーツクラブ	三朝町	賀茂スポレクラブ
//	NPO法人鳥取スポーツクラブ	琴浦町	浦安地区総合型地域スポーツクラブ
//	鳥取市中ノ郷スポーツクラブ	米子市	NPO法人やまつみスポーツクラブ
//	鹿の助スポーツクラブ	//	あすなろスポーツクラブ
//	青谷スポーツクラブ	//	遊YOUスポーツクラブ
//	八幡池スポーツクラブ	//	あいだクラブ
//	総合型スポーツクラブ若葉台	境港市	境スポーツクラブ
岩美町	岩美総合型地域スポーツクラブ	//	ウルトラC&Sクラブ
智頭町	スポねっとちづ	//	境港ジュニア・アスリートクラブ
八頭町	八頭S.C	大山町	大山町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
//	八頭スピリッツ	伯耆町	ほうきスマイリースポーツクラブ
若桜町	若桜町総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会	江府町	奥大山ぶなの森クラブ
倉吉市	NPO法人かほくスポーツクラブ	日野町	Do.スポーツ
//	打吹スポーツクラブ	南部町	南部町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
湯梨浜町	泊クラブ	日南町	にちなんスポーツクラブ設立準備委員会
北栄町	財団法人北栄スポーツクラブ		

鳥取県の総合型地域スポーツクラブの紹介 NPO法人やまつみスポーツクラブ(米子市) 平成13年2月設立

クラブの哲学

スポーツや遊びの本質は「楽しさ」

故に人類はそれを決して手放さない。

価値や意義を超え、本質の享受と本質の伝承を実現する。

スポーツや遊びの本質である「楽しさ」を念頭に置き、みんなが笑顔になれるクラブづくりを目指しています。

サッカー、ダンスなどのジュニアスクール、成年テニス教室のほか、鬼ごっこなどの遊び、文化教室でのものづくり体験などにも力を入れています。

活動種目

サッカー、フットサル、ダンス、テニス、鬼ごっこ、ボール遊び、野外遊びなど、その他コ－トレンタルも行っています。



連絡先：NPO法人やまつみスポーツクラブ
〒683-0824 米子市久米町253-1
TEL/FAX: 0859-37-3220
E-MAIL: yamatumi@chukai.ne.jp
ホームページ: <http://www.yamatumi.org/>

施設の 取り組み紹介

～保育園・幼稚園・小学校の校庭を緑に～ 校庭芝生緑化支援事業を行っています



芝生の植え付け



3ヶ月後

時代の変化とともに生活の利便性が向上し、子どもたちの外で遊ぶ機会、生活の中での運動量が減少しています。

これに伴う子どもたちの体力の低下が問題視されてきている今、鳥取県体育協会では、子どもたちが安心して思い切り走り回れるよう校庭の芝生化推進を支援する事業を平成20年度より行っています。

支援の対象は鳥取県内の園、学校で、PTAや地域と協働して芝の植え付けから維持管理を自主的にできる団体に対して指導・支援しています。

校庭を芝生にすることで、外で遊ぶ子どもが増える、転んでも痛くないので思い切り体を動かせることで体力が向上するなどの効果が出てきています。

事業開始から18団体への支援を行ってきました。今後も、多くの校庭が緑一面の芝生になるよう推進していきます。

当事業の詳細については鳥取県体育協会までお問い合わせください。

これまでの支援先と 芝生化面積

平成20年度

- ・鳥取市立若葉台小学校(1,700㎡)
- ・日吉津保育所(1,000㎡)
- ・鳥取市立中ノ郷小学校PTA(1,000㎡)
- ・(福)あすなろ会 鳥取あすなろ保育園(130㎡)
- 〃 久松保育園(300㎡)
- ・夕日ヶ丘保育園(570㎡)
- ・境港市こども支援センター(300㎡)
- ・境港市誠道小学校(3,000㎡)

平成21年度

- ・日進小学校PTA(504㎡)

- ・美保小学校育友会(2,100㎡)
- ・賀露小学校(2,000㎡)
- ・(福)さとに会(756㎡)
- ・(福)晴天会(400㎡)
- ・津ノ井小学校PTA(1,200㎡)
- ・就将小学校(4,000㎡)

平成22年度

- ・八頭町立郡家東小学校(1,300㎡)
- ・米子市立義方小学校(761.4㎡)
- ・鳥取大学附属幼稚園(375㎡)
- ・岩美町立岩美北小学校(1,000㎡)

平成22年度鳥取県青少年柔道大会を開催しました

9月26日(日)、鳥取県立武道館(米子市)にて、株式会社ローソンの特別協賛をいただき、「鳥取県青少年柔道大会」を開催しました。

鳥取県内の小学1年生から6年生の総勢279名が参加し、日頃の稽古で積み重ねた力を発揮し試合に臨んでいました。

参加していただいた皆さん、お疲れさまでした。

これからもスポーツを楽しんで元気になローソン!



やろうで!

SPORTS とっとり

発行/財団法人 鳥取県体育協会
〒680-0944 鳥取県鳥取市布勢 146-1
TEL: (0857) 28-1288 / FAX: (0857) 28-1399
ホームページ <http://www.sports-tottori.com>

傷害保険

賠償責任保険

共済見舞金

スポーツ安全保険



対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間 平成22年4月1日午前0時より 平成23年 3月31日午後12時まで(申込受付は平成22年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 (団体活動を行う5名以上の方で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。)



5名以上の団体で
ご加入ください

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	共済見舞金
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	600 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	身体・財物賠償 合算 1 事故 5 億円 ただし、身体賠償は 1 人 1 億円	突然死 (急性心不全) 脳内出血など
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,150 円	2,100 万円 100 万円	3,150 万円 150 万円	5,000 円 1,000 円	2,000 円 500 円	身体・財物賠償 合算 1 事故 5 億500 万円 ただし、身体賠償は 1 人 1 億500 万円 身体・財物賠償 合算 1 事故 500 万円	180 万円 対象と なりません
	文化・ボランティア・地域活動 団体の送迎、応援、準備、片付け スポーツ活動 スポーツ活動の指導 子どものスポーツ活動の指導 ※C区分でも加入可	A2 C AC	600 円 1,600 円 1,100 円	2,000 万円 2,000 万円 1,000 万円	3,000 万円 3,000 万円 1,500 万円	4,000 円 4,000 円 2,500 円	1,500 円 1,500 円 1,000 円	身体・財物賠償 合算 1 事故 5 億円 ただし、身体賠償は1人 1 億円	突然死 (急性心不全) 脳内出血など 180 万円
大人 高校生 以上 65 歳以上 の方も加入 できます。	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方は A2 区分	B	800 円	600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000 円	500 万円	750 万円	1,800 円	1,000 円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入れ替え、加入区分の変更はできません。

※掛金には(財)スポーツ安全協会が運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

Web

スポーツ安全協会

検索



法人 スポーツ安全協会

鳥取県支部
(鳥取県体育協会内)

〒680-0944 鳥取市布勢146-1 TEL 0857-28-1288

電話受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00～17:00)
(共同引受保険会社(平成22年4月予定)) ※予告なく変更となる場合があります。
あいおい損害 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 ニッセイ同和損害 日本興亜損害 富士火災 三井住友海上
平成21年12月作成 1310-09-247

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全協会傷害保険特約付帯普通傷害保険、スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険等)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をご確認ください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険までお問い合わせください。